

こちらは輸血・細胞療法センターからの一般的なお知らせです。個々の患者様に応じた対応を致しますので、詳細は診療科主治医からの説明で確認してください

\*\*\*\*\*細胞採取をこれから受ける方への一般的なお知らせ\*\*\*\*\*  
採取中は、心電図モニターを装着し、定期的に血圧測定を行い、医療スタッフが常に監視します。かかる時間は1回2時間から4時間で、通常は1日から2日で終了となりますが、採取にかかる時間や日数には個人差があります。また、結果として十分量が採取できない場合もあります。

【ご注意ください事項等】

- ★ アレルギー体質をお持ちでしたり、これまで生活の中でアレルギーのような反応が出たことがある人は事前にご相談ください。
- ★ 妊娠中や、またその可能性がある方は必ず申し出てください。
- ★ 朝食は早めに召し上がってきてください。
- ★ 寝間着などリラックスできる服装でいらしてください。
- ★ 基本的に採取中の排泄はできません。 排尿・排便を済ませてからいらしてください。
- ★ 採取中は、DVD やテレビを見てゆっくり過ごしていただきますが、両腕を動かすことができませんので、パソコンやスマートフォンの操作は難しいと思われま。スタッフが身の回りのお手伝いをしますので遠慮なくお声掛けください。
- ★ 飲水は可能です。
- ★ 終了後は十分に水分を取るようにし、激しい運動をさけ、安静に過ごしてください。

【採取の合併症】

- ★ 採取では通常の採血よりも少し太めの針を刺します。その際に痛みや不快感による血管迷走神経反応により、吐き気やめまい、血圧が低下することなどがあります。針を刺した血管からの出血、血腫ができるなどの問題が生じることもあります。
- ★ 血液を取り出し器械を通して身体に戻す体外循環が行われますので、その際使用する血を固まりにくくする薬剤（クエン酸）により、唇や指先などにしびれを感じる（低カルシウム血症、テタニー症状） ことがあります。
- ★ 採血時に血小板も細胞と一緒に採取されてしまうため、採取後に血小板減少が問題になることがあります。

【その他お伝えしたい事項】

- ★ 採取された細胞は、生きたまま凍結保存されます。凍結保存や保管には万全の注意を払っておりますが、ごくまれに保存バックの破損やバック内汚染により、保存されていた細胞が使用できないことがありますことをご了承ください。
- ★ 保存された細胞の保管期限は、原則5年となります